

母の唄

Written by His.T & Ats.N

Copyright(c) 1980 Ats.N

♩ = 76

Dm *Dm9* *C* *Dm* *Dm9* *B♭ Maj7*

えちご うまれの ははは いても はるー
のわき ふくあき の ゆう うどん のあじ

C *Dm* *Dm9* *Gm7* *Dm*

をまっていた はるばると ふるさと からー こん
は いまわす れません かろやかな ほうちょうのおとー コト

C *B♭* *Dm Am* *Dm* *Dm9* *C* *Dm*

ぶ うりが やつてきました なつ のよ わか やの なか
コトと いまも きこーえます ふるさと のふゆ をかたる

Dm9 *B♭ Maj7* *C* *Dm* *Dm9* *Gm7*

ふたり ならんで かたりあいました わたしのー おさな
ははは とおくを みつめてい ました メガネにー ゆきふ

Dm *C* *B♭* *Dm* *D7*

いこいをー つげたのも かやの なかでした きよねん
るまちがー うっすらと うっつ っていました

Gm7 *C* *F Maj7* *Dm*

の なつ やまじ にさいた のばら のしろ いはな め

Gm7 *Am7* *Dm* *B♭ Maj7* *C6* *A7* *Dm*

でいたー ははは もうー いま せんー のばら

Dm9 *C* *Dm* *Dm9* *B♭ Maj7* *C* *Dm*

は あか いみ を つけました つぶら なあか いみ を つけ ました

越後生まれの母は
いつも春を待っていました
はるばると故郷から
昆布売りがやってきました

夏の夜半 蚊帳の中
二人並んで語り合いました
私の幼い恋を告げたのも
蚊帳の中でした

野分吹く秋の夕
うどんの味は今も忘れません
軽やかな包丁の音
コトコトと 今も聞こえます

故郷の冬を語る
母は遠くを見つめていました
眼鏡に雪降る町が
うっすらと映っていました

去年の夏
山路に咲いた
野茨の白い花
愛でていた
母はもういません

野茨は紅い実をつけました
つぶらな紅い実をつけました